

【熱海市】ひと足早く、南熱海で「大人の夏旅」を満喫 2026年7月の熱海旅おすすめ情報

海開き、夏祭り、花火大会——カラフルに彩られる熱海の夏を真っ先に体験しよう！



海開き、夏祭り、花火大会——。夏のイベントが続々と始まる7月の熱海は、実は本格的な猛暑や夏休みの混雑シーズン前だからこそ、ゆったりと夏旅を満喫できる絶好のタイミング。

なかでも、ゆったりとした時間が流れる南熱海エリアは、ファミリー、一人旅、女子旅でも安心して過ごせる、「大人の夏旅」にぴったりの穴場です。

今回は、そんな南熱海で過ごす「夏の1日」をご紹介します。昼はアクティブに、夜はゆったりと。心踊る時間と癒しがたっぷりの熱海の夏旅をお届けします。

熱海の最新ニュース&イベント

市内海水浴場で海水浴場開きが行われる7月。熱海の家も空も、すっかり夏モードです。14日から16日には「こがし祭り」として親しまれている熱海の夏の風物詩、來宮神社の例大祭が行われ、町中が祭り一色に。通年開催の熱海海上花火大会のほか、伊豆山地区、泉地区でも花火大会が開催されるなど、夏のイベントで活気づくシーズンです。

熱海サンビーチ・長浜海水浴場・網代温泉海水浴場 海水浴場開き

熱海市内にある3つの海水浴場では、7月11日（土）に海水浴場開きが行われます。今年度の開設期間は8月30日（日）まで。熱海サンビーチでは、人気の海上アスレチック「熱海サンビーチウォーターパーク」が今年も登場します（7月18日～）。ファミリーに人気の長浜海水浴場は、食事のできる海の家やフードコート、ゆっくり休める休憩棟などがあり、1日のんびり過ごしたい人におすすめ。海水浴期間中は毎日、手持ち花火が楽しめる「花火広場」も実施されます。網代漁港のほど近くにある網代温泉海水浴場は、遠浅で波も穏やか、落ち着いた雰囲気の魅力のビーチ。海遊びのあとは、近くの旅館で温泉を楽しむこともできます。それぞれのビーチの魅力をぜひ味わってください。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般財団法人 熱海観光局 広報担当 古川 MAIL : mail@atami-tb.com

■熱海の海水浴場の魅力

<https://www.ataminews.gr.jp/features/34>

- ・期間：2026年7月11日（土）～8月30日（日）
- ・場所：熱海サンビーチ（熱海市東海岸町）、長浜海水浴場（熱海市上多賀）、網代温泉海水浴場（熱海市下多賀）
- ・公式サイト：

熱海サンビーチ <https://www.ataminews.gr.jp/spot/119>

長浜海水浴場 <https://izutaga.jp/menu.php?obj=153&now=1074>

網代温泉海水浴場 <https://www.ataminews.gr.jp/spot/768>

<https://ajirosipa.com/annual-event/%e6%b5%b7%e9%96%8b%e3%81%8d/>

※最新情報はお問い合わせください。



©熱海市観光協会



©多賀観光協会



©南熱海網代温泉旅館協同組合

来宮神社例大祭（こがし祭り）

来宮神社では、7月14日（火）から16日（木）までの3日間、熱海の夏の風物詩として知られる例大祭（別名：こがし祭り）が開催されます。14日に宵宮祭、15日に例大祭、16日に神幸祭が執り行われ、期間中には各町内会による宮神輿渡御や街中を山車が練り歩く山車コンクール、静岡県民俗無形文化財に指定されている「来宮神社 鹿島踊」など、さまざまな催しが行われます。熱海市内が熱気に包まれる伝統の祭りをぜひ体感してください。

- ・期間：2026年7月14日（火）～16日（木）
- ・場所：熱海市西山町 43-1
- ・公式サイト：<https://kinomiya.or.jp/>



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般財団法人 熱海観光局 広報担当 古川 MAIL : mail@atami-tb.com

熱海こがし祭り第 58 回山車コンクール

來宮神社例大祭期間中の 7 月 15・16 日、祭りの一環として「こがし祭り山車コンクール」が開催されます。国道 135 号を交通規制して行う、熱海随一の盛大な催しです。祭りの主役は、各町内から出る伝統の木彫り山車、アイデアを駆使した装飾山車、神輿。照明の角度まで気を配った木彫りや、その年の吊物をかたどった装飾山車約二十基が、東海岸町の審査会場へ繰り出します。山車のほか、御輿も会場を練り歩きます。豪華絢爛な「こがし祭り山車コンクール」で熱海っ子パワーを感じてください。

- ・期間：2026 年 7 月 15 日（水）・16 日（木）
- ・場所：国道 135 号（熱海市東海岸町）審査会場はジャカランダ遊歩道内
- ・公式サイト：<https://www.ataminews.gr.jp/event/140>
※最新情報はお問い合わせください。



©熱海市観光協会

熱海サンビーチウォーターパーク

熱海サンビーチの海水浴場開設期間中、海上に設置される「サンビーチウォーターパーク」が今年も登場。シーソー、トランポリン、滑り台、クライミング、トンネルなど約 30 種類のエア遊具がある約 30m 四方のビーチアスレチックで、小学生から大人まで楽しむことができます。完全入替制で、料金は 1 時間 2000 円（小中学生は 1500 円。小学生未満は利用不可）。この夏も、熱海の海で、大人も子どもも思いっきり楽しんでください！※ご利用の際は、公式サイトに記載の注意事項をご確認ください。

- ・期間：2026 年 7 月 18 日（土）～8 月 30 日（日）
- ・場所：熱海サンビーチ海上（熱海市東海岸町）
- ・公式サイト：<https://www.ataminews.gr.jp/spot/184>
※最新情報はお問い合わせください。



©熱海市観光協会

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般財団法人 熱海観光局 広報担当 古川 MAIL : mail@atami-tb.com

熱海海上花火大会

1952年（昭和27年）に始まった歴史ある花火大会。年間を通して10回以上開催されており、今年7月の開催日は20日と26日です。会場となる熱海湾は、三面を山に囲まれた「すり鉢」状の地形で、まるで巨大な天然のスタジアムのように。町中を包み込む花火の大音響は迫力満点です。夜空に広がる大輪の花火、そしてフィナーレを飾る「大空中ナイアガラ」まで、瞬きを忘れるほどの華やかなスペクタクルをぜひ体感してください。

- ・期間：2026年7月20日（月祝）・26日（日）
- ・打上げ場所：熱海湾 ※観覧場所は熱海サンビーチ、親水公園ほか
- ・公式サイト：<https://www.ataminews.gr.jp/event/8/>



©熱海市観光協会

伊豆山温泉海上花火大会

伊豆山地区の伊豆山港では、7月と8月に海上花火大会が開催されます。7月の開催日は24日（金）で、時間は20時20分から20時35分です。海上から斜めに打ち上げられる迫力満点のスターマインや、フィナーレを飾る「ナイアガラ」など、見どころもたくさん。伊豆山地区の多くの宿泊施設では、目の前に打ち上がる花火を臨場感たっぷりに楽しむことができます。

- ・期日：2026年7月24日（金）
- ・場所：伊豆山港（熱海市伊豆山）
- ・公式サイト：<https://www.izusan.com/>



©伊豆山温泉観光協会

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般財団法人 熱海観光局 広報担当 古川 MAIL : mail@atami-tb.com

伊豆湯河原温泉納涼花火大会

湯河原温泉に隣接する泉公園では、7月25日（土）に「伊豆湯河原温泉納涼花火大会」が開催されます。見どころは、目の前で打ち上がる迫力満点の大玉花火と、静岡県西部の遠州新居に江戸時代から伝わる手筒花火の競演。笛、太鼓、ほら貝が鳴り響くなか、花火師たちが抱える手筒から勢いよく火の粉が噴き上がり、夜空を鮮やかに彩ります。勇壮で幻想的な夏の祭りをぜひ堪能してください。

- ・期日：2026年7月25日（土）
- ・場所：泉公園（熱海市泉字塩坪72-1外）
- ・公式サイト：<https://www.yugawara.or.jp/event/1994/>



長浜、多賀、網代……。女子旅にぴったり、穏やかな南熱海で過ごす「夏の1日」

熱海の街中とはまた違う、海辺ののんびりした空気と鄙びた風情が旅の情緒を盛り上げる、南熱海エリア。本格的な夏の観光シーズン前でも、海開きを迎えた7月の街はすっかり夏モード！そんな南熱海ならではの「ゆったり夏旅」をご提案します。

昼はビーチでのんびり。海辺のカフェでひんやりスムージー、日帰り温泉で酵素風呂も満喫！

日中はファミリーや女性に人気のビーチで海水浴。その後は海の目の前にあるオープンカフェで人気のスムージーを。穴場の日帰り温泉では、人気の酵素風呂でたっぷり汗をかいて夏の疲れをデトックスしましょう。タイミングが合えば神社の祭りに参加して貴重な伝統芸能に触れるのもおすすめ。ディープな夏の1日が過ごせること間違いなしです。

静かな入江にある砂浜のビーチ「長浜海水浴場」へ

約400mの弓なりに広がるビーチは波が静かで、ファミリーや女子旅で訪れるのにぴったり。海上に浮かぶ浮島（いかだ）まで泳いだり、突堤の遊歩道を散策しながらビーチを眺めたり、サマーベッドに横たわってくつろいだりと、思い思いの時間を過ごすことができます。海の家、フードコート、カフェなど食事ができる施設も充実しており、定番のカレー、ラーメンのほか、ロコモコ丼、ガパオライスなども人気。SUP体験で水上散歩を楽しむのもおすすめです。各種レンタルや、駐車場、更衣室、コインロッカー、温水シャワーなどの設備も完備しており、安心して海遊びを満喫することができます。

■長浜海水浴場

- ・期間：2026年7月11日（土）～8月30日（日）
- ・場所：熱海市上多賀
- ・公式サイト：<https://izutaga.jp/>
<https://www.ataminews.gr.jp/spot/684>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般財団法人 熱海観光局 広報担当 古川 MAIL：mail@atami-tb.com



©多賀観光協会

海辺のオープンカフェ「TOPANGA」でごちそうスムージーを

今年の6月21日にオープン10周年を迎えるスポーツカフェ「TOPANGA」。目の前に相模湾が広がり、海風を感じながらのんびり過ごすことができます。店名は、サイクリストやサーファーが集うアメリカ西海岸の街「トパンガ」に由来。この場所の雰囲気がよく似ていることから名付けられたそう。こちらでは、オリジナルステッカー付きの「トパンガサーフ・スムージー」をはじめ50種類以上のスムージーと15種類のホットサンドを楽しめます。ミルクを豆乳に変更するなどのカスタマイズや、スムージー等ドリンク類のテイクアウトも可能。アサイーやプロテインスムージーなどアスリート向けメニューも充実しています。暑さを吹き飛ばすひんやりスムージーで元気をチャージしましょう。

※最新の営業スケジュールやキャンペーン情報等は、公式 Instagram にてご確認ください。

■ Oceanfront Sports Cafe TOPANGA

・場所：熱海市下多賀 1401-13

・公式 Instagram : https://www.instagram.com/topanga_route135jp



山あいにはぐむ日帰り温泉「妙楽湯」の酵素風呂でデトックス

熱海市街の喧騒から離れた山あいにある、静かな古民家造りの日帰り温泉。こちらでまず体験したいのが、名物の「酵素風呂」です。米ぬかに国産の杉やヒノキのおがくずを混ぜ、微生物の発酵熱（約60℃）を利用して全身を温める温浴法で、新陳代謝を促進。免疫力アップや冷え性改善、美肌効果も期待できます。専用の酵素着を着用し、砂風呂のように全身を埋めて15分ほど入浴すれば、たっぷり汗をかいて、体内の老廃物もすっきり排出。入浴後には体が軽くなるのを実感できるはず。さらに、岩造りの露天風呂も魅力のひとつ。川のせせらぎや小鳥のさえずりを聞きながら、癒しのひとときを過ごすことができます。

■ 妙楽湯・場所：熱海市下多賀 1118-8

・公式サイト：<https://myourakuyu.sakura.ne.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般財団法人 熱海観光局 広報担当 古川 MAIL : mail@atami-tb.com



無形民俗文化財「鹿島踊」で伝統芸能に触れる

鹿島踊は、茨城県の鹿島神宮を信仰する人々によって各地に伝えられた、悪疫退散や集落の守護を祈る芸能です。「東伊豆地方の鹿島踊」として国の無形民俗文化財に指定されており、熱海市では來宮・多賀・下多賀・阿治古・初木の5神社で行われています。南熱海エリアでは、阿治古神社と多賀神社で7月の例大祭に合わせて奉納され（下多賀神社は10月に開催）、白装束の踊り手数十人に、太鼓などが加わった踊りが披露されます。年に一度の貴重な機会に、地域に伝わる歴史に触れてみてください。

・期間：

（阿治古神社）2026年7月19日（日）・20日（月祝）、（多賀神社）2026年7月28日（火）・29日（水）

※正式な日程は各神社の総代会などで決定されます。

・場所：阿治古神社（熱海市網代172）など、多賀神社（熱海市上多賀741-1）など

・熱海市ホームページ：

阿治古神社鹿島踊 <https://www.city.atami.lg.jp/kosodate/bunka/1011168/1017157/1017174.html>

多賀神社鹿島踊 <https://www.city.atami.lg.jp/kosodate/bunka/1011168/1017157/1017175.html>

熱海市指定文化財 <https://www.city.atami.lg.jp/kosodate/bunka/1011168/1017157/index.html>



夜は女性にやさしいとっておきの宿へ。ビーチで花火、ロマンティックなバーでカクテルも！

「美肌の湯」として知られる自家源泉をもつ旅館や、著名な着物スタイリストが手掛ける女性専用宿など、女子旅にぴったりの魅力的な宿をご紹介します。もっと遊びたい！という人はビーチで手持ち花火を楽しみながらビールを飲むのもよし、熱海ならではのカクテルがいただけるバーへ出掛けるのもよし。南熱海ならではの夏の夜を満喫しましょう。

「キレイ」も「おしゃれ」も叶えてくれる、女性にやさしい宿で至福のステイを

熱海網代温泉 源泉の宿 ホテル松風苑

網代の海岸から約1kmの高台に佇む自家源泉の宿です。pH9.5という高アルカリ性の泉質で、古い角質を落とし、肌がすべすべになると評判。代謝を促すとされるメタケイ酸も豊富に含まれ、「美肌の湯」として親しまれています。飲泉も可能で、便秘や胃腸の不調にもよいとされています。料理にも温泉を使用しており、例えば鮑の入った海鮮温泉蒸しでは、雑味のない芳醇な香りが楽しめます。さらに、四千坪の庭園も見どころの1つ。日本赤十字社初代社長・佐野常民伯爵の別荘だった当時の趣を残す名

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般財団法人 熱海観光局 広報担当 古川 MAIL : mail@atami-tb.com

園で、春の梅や桜をはじめ、四季折々の花木が彩ります。夏季限定の屋外プールもあり、海遊びと合わせて楽しむことができます。

・場所：熱海市下多賀 966

・公式サイト：<https://shoufuen.jp/>

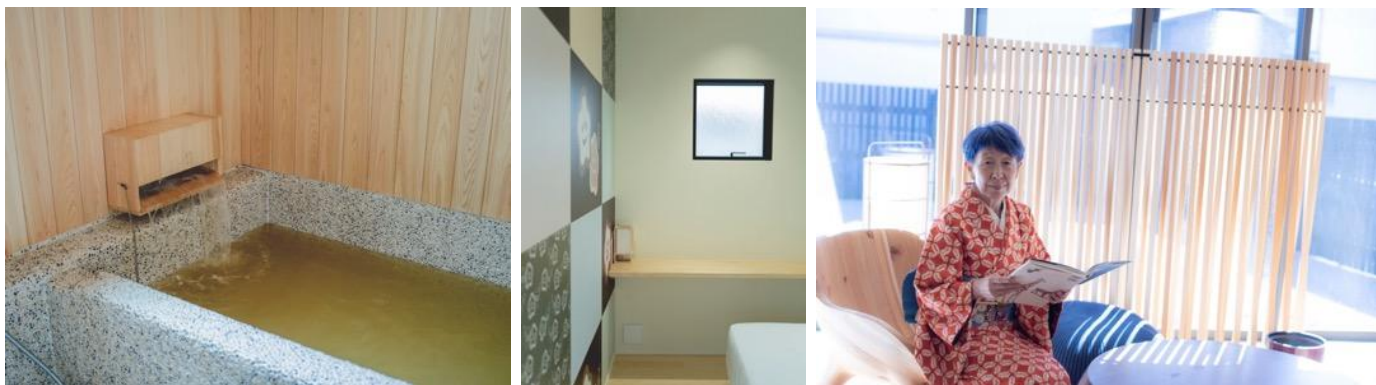


海と温泉の宿 #石田節子

数多くの CM や雑誌で活躍する着物スタイリスト・石田節子さんがプロデュースした女性限定の宿。網代駅から徒歩 3 分、網代温泉の中心地に位置し、源泉掛け流しの温泉が楽しめます。館内には東京友禅作家の作品を用いた壁紙や、自然な凸凹が美しい「なぐり加工」の床など、石田さんのこだわりが随所に。ReFa の美容アイテムや椿由来のスキンケアも揃い、女性にうれしい設備が充実しています。向かいにある「石田節子呉服店」では着物を購入することができ、隣にあるカフェ「hanbi」では和雑貨の販売も行っています。着物好きな人には 2 泊 3 日の着付けプランもおすすめ。網代のローカルな魅力をぜひ満喫してください。

・場所：熱海市下多賀 146-1

・公式サイト：<https://ataminoyutaka.com/>



夏の夜といえば花火。海水浴場でビール片手に手持ち花火を楽しむ

長浜海水浴場では、海水浴場開設期間中の 19 時～21 時に「花火広場」を開催。専用エリアで手持ち花火を楽しめます。着火用の火種や消火用バケツは無料で貸し出しており、花火の販売もあるため、手ぶらで来場可能。花火の持ち込みも OK です。夜の売店では生ビールやかき氷なども販売しており、夜風にあたりながら一杯飲むことも。また、南熱海エリアの宿泊施設（南熱海網代温泉旅館組合加盟施設）では、熱海サンビーチで開催される熱海海上花火大会への有料送迎を実施しており、熱海港の船着き場に設けられた観覧席から花火を楽しむことができます。

■長浜海水浴場

・場所：熱海市上多賀

・公式サイト：<https://izutaga.jp/>

<https://www.ataminews.gr.jp/spot/684>

・南熱海網代温泉旅館協同組合 <https://ajirospa.com/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般財団法人 熱海観光局 広報担当 古川 MAIL : mail@atami-tb.com



©多賀観光協会



©南熱海網代温泉旅館協同組合



©南熱海網代温泉旅館協同組合

「BAR COEDA」で熱海産の橙&檸檬を使用したシグネチャーカクテルを堪能

ACAO FOREST 内にある隈研吾氏設計のカフェ「COEDA HOUSE」。18時から23時まで「BAR COEDA」として営業しており、三島市にある名店「BAR YUMOTO」監修の上質なカクテルを楽しむことができます。こちらでまずいただきたいのは、熱海名産の“橙”や ACAO FOREST で採れた「熱海檸檬」を使用したシグネチャーカクテル。バーテンダーに相談しながらメニューに記載のないオリジナルカクテルを作ってもらうのもおすすめ。海面を照らす月が生み出す幻想的なムーンロードを眺めながら、特別な夜のひとときを過ごしてください。

■ BAR COEDA

・場所：熱海市上多賀 1027-8 ACAO FOREST 内 COEDA HOUSE

・公式サイト：<https://acao.jp/cafe-dining/barcoeda>



熱海観光局について

熱海観光局は、日本有数の温泉地・静岡県熱海市の観光振興を担う一般財団法人です。2024年7月に設立され、熱海商工会議所、熱海市ホテル旅館協同組合連合会、熱海市観光協会連合会はじめ、地域経済を支える各団体と連携して活動しています。温泉、海、山といった豊かな自然や、四季折々の花々や花火大会、文化・芸術イベントなど多彩な魅力を国内外に発信し、都心から最短29分で訪れられる温泉リゾートとして、懐かしさと新しさが調和する体験を提供しています。「愛され、選ばれる熱海へ。観光の力で未来をつくる」を目標に、地域と連携した持続可能な観光地づくりを進めています。

HP: <https://atami-tb.com/>

公式 Instagram: <https://www.instagram.com/atamitourismbureau/>

公式 Facebook: <https://www.facebook.com/atamitourismbureau>

公式 X: <https://x.com/atamikankokyoku>

公式 LINE: <https://lin.ee/OVZYNb4>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

一般財団法人 熱海観光局 広報担当 古川 MAIL : mail@atami-tb.com